

令和7年度				日野市立 日野第八小学校		経営重点計画		自己評価シート		令和7年6月公表			
★学校の教育目標								健康でたくましい子供 ・美しいゆたかな心の子供 ・深く考えやりぬく子供 ・力を合わせて励み合う子供				★重点計画の概要	
★目指す学校像（ビジョン）												プロジェクト名：「『子供たちがつくる学校』プロジェクト」 「子供たちが、自分たちの学校を自分たちの力でつくる」活動に取り組むことを通して、これからの社会の中で自立して生きる力の基盤を育む。そのために、次の4点を基本方針とする。 ①「AAR(計画・実行・振り返り)サイクルを自ら回し続け、課題を解決する力」の育成 ②「仲間と協働的に関わり、集団の中で自分を生かす力」の育成 ③「心身共に健康で、運動を通して自らの生活を豊かにする力」の育成 ④「自他の生命を大切にし、多様な他者とよりよく生きる力」の育成	
【目指す児童像】				・自ら課題を設定し、自分で考え、判断し、行動して課題を解決する子供				・自他の課題解決や、新たな挑戦と創造のために協働できる子供					
【目指す学校像】				すべての子供の活躍の舞台 日野第八小学校！									
【目指す教師像】				・子供の理解に努め、認め励ましながら、子供と共に実践する教師				・自らの資質向上に努め、子供の生きる力を育むことができる教師					
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準									
				取組指標				成果指標					
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	子供たちが、自分たちの学びを、自分たちでつくる授業の実施	生活科・総合的な学習の時間等の授業づくり	・地域資源の活用により、多様な他者と関わり、多様な体験・実践を通して学ぶ授業を工夫し実践する。	4 具体的方策に教員の70％以上が取り組んだ。				4 90％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				3 具体的方策に教員の60％以上が取り組んだ。				3 85％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				2 具体的方策に教員の50％以上が取り組んだ。				2 80％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				1 具体的方策に取り組んだ教員が50％未満であった。				1 肯定的な評価をした子供が80％未満である。					
		活用できる力を身に付け、自ら学ぶ授業づくり	・子供が主体的に学び、「課題解決に活用できる確かな力を身に付ける授業」を工夫し実践する。 ・習得した力を生かし、子供が自らの学びを調整して取り組む「子供に委ねる授業」を工夫し実践する。	4 具体的方策に教員の70％以上が取り組んだ。				4 95％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				3 具体的方策に教員の60％以上が取り組んだ。				3 90％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				2 具体的方策に教員の50％以上が取り組んだ。				2 85％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				1 具体的方策に取り組んだ教員が50％未満であった。				1 肯定的な評価をした子供が85％未満である。					
社会と未来に開き、みんなでつくる	子供たちが、自分たちの学校生活を、自分たちでつくる活動の実施	なかよしプレイタイムの充実・発展	・第6学年をプレイリーダーとする異学年グループ「なかよし班」活動を、子供たちが自主的に企画・運営・改善して楽しむことができるようにする。	4 具体的方策に教員の70％以上が取り組んだ。				4 85％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				3 具体的方策に教員の60％以上が取り組んだ。				3 80％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				2 具体的方策に教員の50％以上が取り組んだ。				2 75％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				1 具体的方策に取り組んだ教員が50％未満であった。				1 肯定的な評価をした子供が75％未満である。					
		子供発信の活動の積極的な実施	・ESDミーティング、八小まつり、運動会、学習発表会などの学校行事やクラブ・委員会活動において、子供たちが自分たちのアイデアを生かして内容や活動を決定して取り組む機会を設定する。 ・学級会等での話し合いによって、「レッツ・トライ」の趣旨に沿った活動を、子供たちがつくり出し、仲間と共に試行錯誤を繰り返しながら、やり遂げる機会を設定する。	4 具体的方策に教員の75％以上が取り組んだ。				4 90％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				3 具体的方策に教員の65％以上が取り組んだ。				3 85％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				2 具体的方策に教員の55％以上が取り組んだ。				2 80％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				1 具体的方策に取り組んだ教員が55％未満であった。				1 肯定的な評価をした子供が80％未満である。					
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	つばめ学級及びステップ教室の運営体制の確立と指導の充実	つばめ学級及びステップ教室の運営体制の確立と指導の充実	・つばめ学級の子供たちが安心して過ごせる環境を、全教職員と専門家、関係機関とともに構築する。 ・個々の状況を捉え、教科指導や自立活動を円滑に実施すると共に、常に指導を改善し、一人一人の子供に最適な指導を行う。 ・チームの力を生かして、個々の状況に応じた指導を充実し、常に指導法や支援策の改善を行う。	4 具体的方策に教員の80％以上が取り組んだ。				4 90％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				3 具体的方策に教員の75％以上が取り組んだ。				3 85％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				2 具体的方策に教員の70％以上が取り組んだ。				2 80％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				1 具体的方策に取り組んだ教員が70％未満であった。				1 肯定的な評価をした子供が80％未満である。					
	関係機関との連携に基づく生活指導の充実	関係機関との連携に基づく生活指導の充実	・多様化している子供たちの心身の課題の解決について、教育、福祉、警察等の各機関と連携し、学校としての方針を明確にして対応し、状況の改善と解決に取り組む。	4 具体的方策に教員の70％以上が取り組んだ。				4 85％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				3 具体的方策に教員の60％以上が取り組んだ。				3 80％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				2 具体的方策に教員の50％以上が取り組んだ。				2 75％以上の子供が、肯定的な評価をした。					
				1 具体的方策に取り組んだ教員が50％未満であった。				1 肯定的な評価をした子供が75％未満である。					
※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。													